

平成22年度 認知症介護実践リーダー研修 カリキュラム詳細

時間	教科名	区分	目的	内容
<b>第1日目 8月2日(月)</b>				
研修にあたって(オリエンテーション)				
9:30~10:30 60分	実践リーダー研修のねらい・目的	講義	研修の目的・目標を明示し、研修カリキュラムの組立を理解する。研修の機会を研修生のストレス緩和・情報交換・ネットワークづくりの場に活用することを促す。	●研修目的・目標の明示 ●目的・目標とカリキュラムの明示 ●研修の機会を、主体的、積極的に自分の学習の場として活用する意義の明示
10:40~12:40 120分	認知症介護の理念 「生活支援のための認知症介護のあり方」	講義+演習	認知症介護において今後求められる『能力に応じ自立した生活』を支援するためのケアのあり方を、取組を行っている事例を通して具体的なイメージを持つ。	●他スタッフとの関係の持ち方 ●リーダーとしての自己理解と役割の理解 ●演習での講義内容の理解・具体的援助技法の体験的理解
13:40~15:40 120分	認知症介護の理念 「新しい認知症介護理念の構築」	講義+演習	認知症介護において今後求められる『能力に応じ自立した生活』を支援するためのケアのあり方を、取組を行っている事例を通して具体的なイメージを持つ。それを踏まえて自分の職場の理念を振り返り、新しい認知症介護の理念の構築を行うこと。	●介護保険法に基づいた自立支援・地域のケアのあり方 ●具体事例の提示・事例を用いた演習 ●自分の職場の理念の振り返り・新しい理念の構築(演習)
15:50~17:50 120分	「職場課題の明確化と研修自己課題の設定」	講義+演習	実践リーダー研修の目的を理解し研修中の個人の課題設定を明確にする。リーダーとして表現力を発揮し主体的に研修に参加する態度を促す。討議を通じて研修生同士の相互理解を持つ。	●研修中の自己課題の設定 ●課題を明確にし文章としてまとめ、口頭で発表する ●リーダーとしてのプレゼンテーション・ディスカッション
第1日目の振り返り				
<b>第2日目 8月3日(火)</b>				
9:30~12:30 180分	認知症介護のための組織論 「サービス展開のためのリスクマネジメント」	講義+演習	実践リーダーの役割として「虐待」「拘束」「人権擁護」の内容とその対応、認知症により日常場面で抱えるリスクを理解し、ケアの現場でリスクマネジメントを具体的に展開していく技能を身に付ける。	●「虐待」「拘束」の定義と具体的内容とその対応法 ●人権擁護の内容 ●成年後見制度の内容と活用 ●自由の確保と安全管理 ●認知症が生活場面に及ぼすリスクについて ●演習での講義内容の理解・具体的対応方法の体験的理解
13:30~17:30 240分	認知症介護のための組織論 「実践リーダーの役割と視点」	講義+演習	介護現場の実践リーダーとしての視点から、組織における人間関係を理解し、自施設でチームケアを実践する上で必要とされるリーダーシップを身に付ける。	●チームケアのあり方・チームワークを理解する ●持つべきリーダーとしての視点を理解する ●演習での講義内容の理解・具体的援助技法の体験的理解
第2日目の振り返り				
<b>第3日目 8月4日(水)</b>				
9:30~10:30 60分	人材育成のための技法 「人材育成の考え方」	講義	認知症介護の質向上に資する人材育成の目的やねらい、方法、工夫点、課題を理解し、具体的事例等を通して人材育成の重要性を理解する。	●人材育成の重要性と課題 ●具体例等を通して目的やねらい、方法、工夫点の提示 ●「求められる人材像」と教育システム
10:40~12:40 120分	人材育成のための技法 「スーパービジョンとコーチング」	講義+演習	人材育成の技法であるスーパービジョンとコーチングの内容を理解し、現場で実践・活用できる技能を身に付けること。	●スーパービジョンとコーチングの内容と方法 ●演習による講義内容の理解と具体的な技法の体験的理解
13:40~17:40 240分	人材育成のための技法 「スーパービジョンとコーチング」	講義+演習	人材育成の技法であるスーパービジョンとコーチングの内容を理解し、現場で実践・活用できる技能を身に付ける。	●スーパービジョンとコーチング内容と方法 ●演習による講義内容の理解と具体的な技法の体験的理解
第3日目の振り返り				
<b>第4日目 8月5日(木)</b>				
9:30~12:30 180分	認知症介護のための組織論 「地域資源の活用と展開」	講義+演習	実践リーダーの役割として認知症高齢者の『能力に応じた生活』を支援するために必要な地域資源(公的・非公的ともに)の内容と連携の方法を理解し、活用する技能を身に付けること。	●公的・非公的地域資源の内容 ●地域資源との連携の方法 ●演習での講義内容の理解・具体的対応方法の体験的理解
13:30~17:30 240分	チームケアのための事例演習 「効果的なケースカンファレンスの持ち方」	講義+演習	実践リーダーとして、職員の意欲や動機付けを高める効果的なケースカンファレンスの持ち方の方法を学び、具体的に展開できる技能を身に付ける。	●ケースカンファレンスの内容・事例提示の方法・進め方 ●短時間で問題解決できる技法の習得・体験的理解 ●事例・演習による具体的な展開方法の体験的理解
第4日目の振り返り				
<b>第5日目 8月6日(金)</b>				
9:30~12:30 180分	認知症介護のための組織論 「高齢者支援のための家族支援の方策」	講義+演習	家族の心理や求められるケアや支援の展開を理解し実践リーダーの役割として家族支援できる技能を身に付けること。	●家族(心理)の理解 ●高齢者と家族の関係の理解 ●自立支援の為に家族の位置付けの理解 ●演習での講義内容の理解・具体的援助技法の体験的理解
13:30~17:30 240分	チームケアのための事例演習 「効果的なアセスメント」～センター方式～	講義+演習	認知症介護のアセスメントとケア基本的な考え方を身につけるセンター方式のねらいと特徴、「利用者本位のケア」のあり方の理解を深め、現場で活用できる技能を身に付ける。	●センター方式のねらいと特徴 ●利用者本位ケアのポイントに添ったセンター方式の活用法 ●身近な事例による講義内容の理解と技法の体験的理解
第5日目の振り返り				
<b>第6日目 8月9日(月)</b>				
9:30~12:30 180分	人材育成のための技法 「人材育成の企画立案と伝達表現技法」	講義+演習	人材育成方法として、職場を中心に人材教育や研修を行うに際して、必要となる教育研修カリキュラムの企画立案の方法と講義・演習・指導等を行う際の伝達表現の技法の基本を理解し、実際に展開する際の留意点を学ぶこと。	●効果的な企画立案、講義・演習・指導等の意義と重要性。 ●演習による講義内容の理解と具体的方法の体験的理解。 ●演習は60分以上とする。
13:30~17:30 240分	人材育成のための技法 「事例演習1・2」	演習	本教科「人材育成のための技法」の各単元を踏まえて、強化のまとめとして事例を用いて、介護現場で活用できるための実践的な方法を身に付けること。	●人材育成、チームケアを具体的に検討し、各単元の理解を体験的に深めることが出来る事例の提示。 ●2事例実施。 ●1事例は居宅事例であること。
第6日目の振り返り				
<b>第7日目 8月10日(火)</b>				
9:30~10:30 60分	「事例演習展開のための講義」	講義	「組織論」「人材育成」の教科を踏まえて、認知症介護をチームケアとして展開できる方法を事例演習を通して身に付ける	●チームケアを具体的に検討し、理解を体験的に深めることの出来る事例の提示 ●2事例実施。 ●1事例は居宅事例であること。
10:40~13:40 180分	チームケアのための事例演習 「事例演習1」	演習		
14:40~18:40 240分	チームケアのための事例演習 「事例演習2」	演習		
第7日目の振り返り				
<b>第8日目 8月11日(水)</b>				
9:30~12:30 180分	認知症介護のための組織論 「介護現場の環境を整える方策」	講義+演習	実践リーダーの立場から組織内の対人関係とケアの質を維持・向上させるため、職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントの内容と方法を理解し、実践できる技能を身に付けること。	●職場のメンタルヘルス ●職場内のストレス ●職員間の人間関係 ●演習での講義内容の理解・具体的対応方法の体験的理解
13:30~17:30 240分	実習課題設定	講義+演習	自事業所のアセスメントを行い、自事業所が認知症介護の質向上にむけて抱える課題と改善点を明らかにすること。8日間の講義演習をふまえ、その解決方法について計画を立案する。その参考となる情報を外部実習からどのように習得するかをまとめる。	●演習を通して、自事業所のアセスメントを行う ●自事業所が抱える課題と改善点を文章で明示する ●自事業所の介護の質向上にむけての計画案を作成する ●外部実習における目的と意義を明らかにする
全体の振り返り・アンケート記入				
10月6日(水)	実習報告会			